

「ぬくもりを届けたい、手から心へ」

たまちゃん通信

令和2年2月発行 120-2

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町10番1号

TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311

e-mail:honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

「サーカスみたいで楽しい」

和歌山支部の活動が地方紙に

和歌山お手玉の会（森勝代会長）は、令和元年11月26日(火)、市内の栄谷の市立藤戸台小学校でお玉の出前講座を行いました。この様子が、「サーカスみたいで楽しい」のタイトルで、地元の「わかやま新報」で、次のように紹介しています。

「同会は、会員約50人で構成。小学校や老人ホームなどを訪れ、お手玉の魅力を伝えている。この日は、森代表をはじめ会員6人が黄色のシャツを着て同校を訪問。1年生約170人や保護者、地域住民らと交流を深めた。森代表はお手玉の魅力について『作る、見

る、遊ぶの3つの楽しみがある』と説明。子どもたちはお手玉を両手で投げ、両手で受けたり、離れたかごを目がけてお手玉を投げたり、さまざまな遊び方を通じてお手玉の扱い方を学んだ。

森代表は、子どもたちに『顔を動かさずに一点を見続けるとうまくできるよ』『5回を目標にやってみよう』などと声を掛けていた。会員らによるジャグリングの披露もあり、子どもたちは『まるでサーカス』『花火みたい』と声をかけていた。

参加した森こはるさん(7)は、「お手玉でいろいろな遊びができることを知らなかったので、とても楽しかった。またやってみよう」とにっこり。会員の浦田臣子さんは「こどもたちがニコニコしていた表情で楽しそうにお手玉をしてくれて良かった」と話していた。(以上は、写真上の「わかやま新報」から)

森会長は、このたびの小学校への「お手玉の出前講座」について、次のように話しています。

「当日は学校開放の行事だったので、1年生の保護者や地域の方も多数参加してくれました。地域の高齢者からは、これからの地域のイベントや集会に、お手玉の会のメンバーと一緒にお手玉を取り入れることもできる、と話してくれました。後日、生徒さんからは、大きな手作りの紙で立体のクリスマスツリーを作り、一人ひとりの感想を書いてプレゼントしてくれました。(写真：下)『おてだまおしえてくれてありがとう』『かごにいれてあそぶのと、ヨーヨーがたのしかったよ』などと書かれていました。」

